

Q46.腹部エコー検査で何をチェックしているのでしょうか？

A.

腹部エコーでは、肝臓、腎臓、膵臓、脾臓、胆嚢、膀胱、子宮の腹腔内臓器、腹水の有無や大動脈等を観察します。心エコーと同様簡便にある程度十分な情報が得られ、体への負担も少なく繰り返し検査をすることが可能です。透析患者さんでは、肝臓がんや肝硬変の発生率が健常人の15～20倍あり、腎臓がんの発生率が一般人に比べて9.7倍から11.0倍と高いです。そのため、当院ではその中でも特に肝臓がんや肝硬変に移行しやすいとされる血液検査で肝炎ウイルス陽性(B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルス陽性)の方はおよそ4か月に1回、それ以外の患者さんは年間1回の腹部エコー検査を行っています。

腹部エコー検査で腫瘍、あるいはそれを疑わせる像を認めた場合は、専門医へ紹介しより適切な精査、治療を受けていただきます。